

2025年12月16日

各 位

SBIホールディングス株式会社

Startale Group Pte. Ltd.

SBIホールディングスとStartale Groupによるグローバル市場向け
日本円建てステーブルコインの共同開発に関するお知らせ

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：北尾吉孝、以下「SBIホールディングス」）、とStartale Group Pte. Ltd.（本社：シンガポール、代表：渡辺 創太、以下「スタークエイル」）はこのたび、日本等の金融規制に準拠した日本円建てステーブルコインの共同開発・提供（以下「本プロジェクト」）に向けた基本合意書（MOU）を締結しましたのでお知らせいたします。



本プロジェクトを通じて、国内外でステーブルコインの発行を含む様々な案件を開発してきたスタークエイルが保有するブロックチェーン技術・プロダクトの専門性と、グローバルに展開する日本を代表する金融機関として、次世代金融の開拓にも尽力してきたSBIグループの強固な金融インフラおよび規制対応面での知見を融合し、信託型の3号電子決済手段として、国内における送金・滞留における100万円制限を受けない、信頼性の高い円建てステーブルコインを発行します。

また、グローバルなデジタル市場での決済通貨として活用されることを視野に、国内外で流通させ、世界中のニーズを取り込んで、多様な用途で利用されるステーブルコインとなることを目指します。

SBIホールディングスとスタークエイルは本プロジェクトを通じて、金融規制に準拠したステーブルコインを普及させることで、既存金融とブロックチェーンイノベーションの融合を促進し、日本のデジタルアセットの進化を象徴する重要な一歩として、日本を世界の最前線へと導くことを目指します。

・法制度に準拠した、グローバルに信頼される円建てステーブルコイン

本プロジェクトでは、各国の金融規制に準拠し、プログラマブルかつグローバルに利用可能な円建てステーブルコインの枠組みを設計・実装する予定です。ステーブルコインによる、クロスボーダーでの金融取引、法人向け決済、オンチェーンでの支払い等を通じて、既存金融とブロックチェーンテクノロジーを活用したデジタル金融の融合を実現するべく、規制・制度への準拠のための態勢整備を前提として、2026年度1Qでのローンチを目指しています。

スタークループはスマートコントラクトおよびAPIの設計、セキュリティおよびコンプライアンスシステムの構築、エコシステムの拡張といった技術開発を主導します。一方、SBIグループは規制・コンプライアンスへの対応を主導するとともに、ステーブルコインの流通促進および投資家への導入支援を担います。

具体的には、SBIグループの暗号資産事業における中核会社となる、新生信託銀行株式会社（株式会社SBI新生銀行の100%子会社）が、ステーブルコインの発行・償還を担い、SBI VCトレードが、電子決済手段等取引業者としてステーブルコインの流通を促進します。加えてSBIグループ各社が法人を含む投資家によるステーブルコインの導入を積極的にリードし、次世代金融の実装を支援します。

SBIホールディングス 代表取締役社長兼会長 北尾吉孝によるコメント：将来、現実世界のあらゆる資産がトークン化され、決済手段としてもトークンが浸透する「トークンエコノミー」への移行は、もはや不可逆な社会的潮流です。SBIグループは金融の最前線に立つ企業として、いち早くこの領域で様々な取り組みを推進し、デジタルスペース生態系を構築してきました。この度、スタークループと共同で、その基盤となる円建てステーブルコインを発行し、国内外で流通させることで、既存金融と融合したデジタル金融の提供に向けた動きを飛躍的に加速させたいと考えています。

スタークループ CEO 渡辺創太によるコメント：「世界をオンチェーン化することで、次の文明の基盤を創る」ことがスタークループのミッションです。円建てステーブルコインは日常生活の決済だけにとどまらず世界がオンチェーン化する中で中核的な役割を果たします。特に、近い将来実現するAIエージェント間の決済やトークン化された資産の分配金等に対する応用に大きく注目しています。日本だけにとどまらず、世界をリードするようなユースケースをSBIホールディングスと共同で創ることができることに大変興奮しています。日本をオンチェーン革命の中心地にするべく全力を尽くします。

- ・既存金融、トーケン化 RWA、オンチェーン・イノベーションの架け橋となる、すべての人のための「規制に準拠した円建てステーブルコイン」

日本は、法定通貨担保型ステーブルコインに関する包括的な法制度の整備で、世界をリードしています。この先進的な規制環境は、既存金融とブロックチェーンテクノロジーを活用したデジタル金融エコシステムを繋ぐ、ステーブルコインの実装に適していると考えています。

今後 SBI ホールディングスとスタークエイルは協働で、トーケン化株式やオンチェーン金融インフラの取り組みを発展させ、安全性・透明性・相互運用性を備えた円建てステーブルコインエコシステムを構築していきます。規制された環境下で、高速かつグローバルにアクセス可能な日本円決済機能を提供することで、より包括的な金融システムを実現する、新時代のインフラ創造に向けて尽力してまいります。

■SBI ホールディングスについて

SBI ホールディングスは、金融サービス、資産運用、PE 投資、暗号資産、次世代事業など、幅広いビジネスを展開する日本有数の総合金融グループです。1999 年の設立以来、SBI グループはインターネットを基盤とした証券、銀行、保険をカバーする金融生態系を構築し、イノベーションと戦略的投資を通じてグローバルに事業を拡大し続けています。

■スタークエイルについて

Startale Group は、「世界をオンチェーン化することで、次の文明を創る」をミッションとする、日本発のグローバルフィンテック企業です。SBI ホールディングスとともにトーケン化資産の取引基盤を構築する他、ソニーグループとの合弁会社 Sony Block Solutions Labs を通じて Soneum を共同開発するなど、次世代の金融・社会インフラの創出に取り組んでいます。また、独自プロダクトとして「Startale App」を開発・提供しています。Startale App は、Soneum エコシステム上の多様なオンチェーン体験をシームレスにつなぐスーパーAPI で、誰もが簡単かつ安全にオンチェーンの世界を楽しめる環境を実現します。

詳細は Startale : Website | X をご覧ください。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先 :

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部: 03-6229-0126
Startale Group メディア様向け問い合わせ先: marketing@startale.com